

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	急性骨髄性白血病の同種移植前に Venetoclax 併用化学療法を実施した症例の検討
	研究目的	Venetoclax 併用療法 (Venetoclax+Azacitidine、Venetoclax+少量 cytarabine) は、高齢者や強力化学療法が適さない急性骨髄壊性白血病 (AML) 患者に対する治療法として承認されています。同種移植への橋渡しとしての治療選択肢としても期待されていますが、本邦において同種移植前に Venetoclax 併用レジメンを用いた報告はまだ少ないのが現状です。当院で同種移植前に Venetoclax 併用レジメンを実施した AML 患者 10 例を、主に安全性・有効性の点において後方視的に検証します。
	研究対象者	2021 年 4 月から 2021 年 9 月に当センター血液科にて Venetoclax 併用療法後に同種移植治療を受けた患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 1 月 31 日～西暦 2023 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	貫井淳
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし